



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月5日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
コード番号 9977 URL <https://www.aokisuper.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青木 俊道
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 黒澤 淳史（TEL）052(414)3600
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	43,268	△6.1	679	—	730	—	630	—
2023年2月期第2四半期	46,069	—	△381	—	△341	—	△310	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年2月期第2四半期	109	78	—	—				
2023年2月期第2四半期	△53	79	—	—				

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期会計期間の期首より適用しております。営業収益に大きな影響が生じるため、2023年2月期第2四半期の営業収益の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第2四半期	百万円 31,134	百万円 21,307	% 68.4
2023年2月期	29,758	21,060	70.7

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 21,280百万円 2023年2月期 21,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
2024年2月期	—	30.00			
2024年2月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,200	△4.5	1,330	161.5	1,400	138.3	1,000	—	174.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	6,250,000株	2023年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	559,495株	2023年2月期	475,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	5,743,125株	2023年2月期2Q	5,774,214株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、資源エネルギー価格・原材料価格の高止まりや各国通貨との金利差拡大に伴う円安による輸入物価高などにより消費者マインドは弱含んでおり、景気の回復は緩やかなものとなりました。また、中国経済の先行き、海外経済の動向や世界的な金融引締めが続く中での金融資本市場の変動、エネルギー情勢の影響が国内経済を下振れさせるリスクにも留意が必要であり、依然として先行き不透明な環境が続いております。

当小売業界におきましても、急激な物価上昇に伴い、低価格志向などの根強い生活防衛意識が一層高まるなど厳しい状況が続きました。さらに、当社を取り巻く経営環境は、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間競争の激化、人件費や物流費の上昇などに加え、資源価格や穀物価格等の高騰に伴う仕入価格への転嫁の影響により、今後も予断を許さない状況が続くものと考えられます。

このような状況下、当社は、お客様と共に紙資源の削減に取り組むと同時に、お会計時における利便性の向上を目的として「アオキスーパー公式アプリ」と連携する電子レシートサービスの提供を3月に開始し、初回登録キャンペーンが奏功したことにより、8月末現在で7万4千件を超える登録数となりました。

店舗政策では、新設店として3月にあま坂牧店・4月に福德店をオープンいたしました。これらの店舗では、水産部門とデリカ部門の連携を強め、季節や旬に応じた鮮度感のある総菜売場の展開や太陽光発電設備の設置によるCO2削減など、新たな取組みを行っております。

販売促進策では、四半期に一度の大感謝祭・週に一度のジャストプライスセールや日曜朝市等の企画、及び生鮮食料品に強みを持つ食品スーパーである当社の特色を前面に打ち出し、月に一度、第2水曜日は鮮魚を中心とした「魚の日・新鮮大漁市」、第3水曜日は野菜や果物を中心とした「青果の日・青果大市」、29日は精肉を中心とした「肉の日」として、旬の食材やお値打ち品を多数取揃えた企画を継続実施いたしました。また、ポイントカード会員様を対象としたポイント〇倍デーや商品に応じたプラスポイント付与に加え、電子マネーの利用促進策として、チャージボーナス〇倍デーや抽選で電子マネーが全額戻ってくるキャンペーン等の企画を実施いたしました。加えて、8月から新たに各自自治体を実施するQRコード決済によるポイント還元キャンペーンに参加し、お客様の利便性の向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期は、営業収益432億68百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益6億79百万円、経常利益7億30百万円、四半期純利益6億30百万円となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、15億92百万円増加し、128億23百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、2億16百万円減少し、183億10百万円となりました。これは主に、電子マネーに係る供託金の返還に伴う敷金及び保証金の減少によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、13億75百万円増加し、311億34百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、10億96百万円増加し、78億28百万円となりました。これは主に、仕入債務等の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、31百万円増加し、19億97百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、11億28百万円増加し、98億26百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、2億46百万円増加し、213億7百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、2.3ポイント減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の四半期末残高は、104億81百万円となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの）が、19億46百万円の増加となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが3億86百万円の減少となったことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、22億8百万円となりました（前年同四半期累計期間は10億94百万円の資金の増加）。これは主に、営業収入、減価償却費及び仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、2億61百万円となりました（前年同四半期累計期間は9億47百万円の資金の減少）。これは主に、店舗の設備投資によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、3億86百万円となりました（前年同四半期累計期間は1億72百万円の資金の減少）。これは主に、自己株式の取得及び配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、本日（2023年10月5日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,920	10,481
売掛金	0	181
商品	1,663	1,623
貯蔵品	47	34
その他	599	502
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,231	12,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,917	6,691
土地	5,218	5,176
その他（純額）	1,794	1,179
有形固定資産合計	12,930	13,047
無形固定資産	610	572
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,480	3,140
その他	1,552	1,597
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,986	4,689
固定資産合計	18,527	18,310
資産合計	29,758	31,134
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,279	4,841
未払法人税等	46	282
賞与引当金	183	184
その他	2,222	2,520
流動負債合計	6,731	7,828
固定負債		
退職給付引当金	795	786
長期預り保証金	745	775
資産除去債務	423	433
その他	2	1
固定負債合計	1,966	1,997
負債合計	8,698	9,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	50	50
資本剰余金	3,145	3,145
利益剰余金	18,785	19,242
自己株式	△944	△1,157
株主資本合計	21,036	21,280
新株予約権	24	26
純資産合計	21,060	21,307
負債純資産合計	29,758	31,134

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	43,603	40,988
売上原価	37,164	33,181
売上総利益	6,439	7,806
その他の営業収入	2,466	2,280
営業総利益	8,905	10,086
販売費及び一般管理費	9,287	9,407
営業利益又は営業損失(△)	△381	679
営業外収益		
受取利息	11	10
生命保険配当金	0	13
その他	29	28
営業外収益合計	40	52
営業外費用		
支払利息	0	0
自己株式取得費用	-	1
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益又は経常損失(△)	△341	730
特別利益		
固定資産売却益	-	142
補助金収入	0	-
その他	-	0
特別利益合計	0	143
特別損失		
固定資産除却損	16	0
減損損失	55	-
特別損失合計	71	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△413	873
法人税、住民税及び事業税	19	282
法人税等調整額	△122	△39
法人税等合計	△102	242
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△310	630

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△413	873
減価償却費	575	603
減損損失	55	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	△23
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	0	0
固定資産除却損	2	0
固定資産売却損益(△は益)	-	△142
補助金収入	△0	-
売上債権の増減額(△は増加)	0	△180
棚卸資産の増減額(△は増加)	△38	52
未収入金の増減額(△は増加)	71	202
仕入債務の増減額(△は減少)	316	562
未払金の増減額(△は減少)	36	5
未払消費税等の増減額(△は減少)	95	123
未払費用の増減額(△は減少)	146	135
その他	△40	53
小計	791	2,255
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	301	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,094	2,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△642	△818
有形固定資産の売却による収入	-	185
補助金の受取額	8	-
無形固定資産の取得による支出	△343	△15
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△24	△0
敷金及び保証金の回収による収入	65	351
預り保証金の返還による支出	△11	△34
預り保証金の受入による収入	1	72
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△947	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△212
配当金の支払額	△172	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172	△386
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25	1,560
現金及び現金同等物の期首残高	9,676	8,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,651	10,481

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。